

令和7年度 共創型研究推進事業 採択結果

研究代表者	研究題目	支援額
板倉 美奈子 (グローバル共創科学部)	希少な水生生物資源の再生・保全と持続可能な活用をめざす試み	¥800,000
小二田 誠二 (人文社会科学部)	但沼舎人親王祭典の記録と継承	¥150,000
定松 文 (グローバル共創科学部)	多文化共生政策における記憶の表象と反うわさ戦略の効果と組織分析	¥300,000
坪内 知美 (農学部)	理工学連携で達成する細胞融合による超機能化細胞の創出	¥300,000
長尾 遼 (農学部)	藻類微生物複合系バイオマスによる水生動物の飼育基盤の構築	¥300,000
平嶋 裕輔 (グローバル共創科学部)	天文学の知見・技術を取り入れたスポーツデータサイエンス革新への挑戦	¥900,000
満下 健太 (グローバル共創科学部)	機能性成分の摂取習慣形成に向けた分析化学・心理学の統合アプローチ	¥800,000
本橋 令子 (農学部)	稲作普及以前のサトイモ食用利用の可能性検証	¥500,000
横田 宏樹 (人文社会科学部)	里山林の育成・利用と森林流域社会のローカルモデルに関する研究	¥450,000
※50音順		
(支援合計額)		¥4,500,000

選考結果とその経緯

(選考結果)

年度	申請件数	採択件数	総支援額
令和 5 年	7	7	300 万円
令和 6 年	11	11	500 万円
令和 7 年	9	9	450 万円

(選考の経緯)

グローバル共創科学部内に選考委員会（教員 4 名で構成）を設置し、書類審査及び合議審査により採択課題及び支援額を決定した。

(書類審査)

提出された申請書を(1) 目的・概要（10 点満点）、(2) 研究計画（10 点満点）、(3) 独創性・新規性（10 点満点）、(4) 共創的に行う意義（30 点満点）、(5) その他（10 点満点：特筆すべき研究業績、競争的外部資金獲得状況、学内にて支援されている研究資金、特記事項を総合的に判断）を基準に採点した（70 点満点）。

(合議審査)

書類審査の結果を踏まえ、書類審査の順位に従って、研究の方向性・重要性とともに、共創的研究としての重要性・将来性に主眼を置き審査し、採否及び支援額を決定した。

(選考において重要視した点)

書類選考において「共創的に行う意義」を 30 点満点にしているように、提案された研究課題が如何に共創的かを重要視した。募集要項において共創的研究を、「個々のディシプリンベースの専門知識・技術をもとに、グローバル化した社会の新たな諸課題の発見や解決を目指した研究、特に地球の持続可能性など地球的・人類的課題に関する研究や、文理融合を含め複数の大きく異なる専門領域にまたがる学際的研究等を意味する。」と定義しているが、特に二重下線部分を最重要視した。

さらに、合議審査で行われたように、「研究の方向性・重要性とともに、共創的研究としての重要性・将来性」も重要視した。

今回の申請では、申請書における「支援金使用内訳」における説明不足や過剰な支援要求が見られた。また、研究課題が「具体的に何を行うのか？」を記載していないケースがあった。特に（今年度に限らず）「本申請が共創的研究かどうか？」と疑問が残る申請も存在したため、本事業の趣旨を今一度周知する必要があると結論づけた。